

目標値の状況について①

目標値

計画策定時

最新値

公共交通利用者数



令和元年度実績
(630百万人)
の90%以上

448百万人
(令和3年度)

525百万人
(令和4年度)

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少したが、令和4年度は回復傾向に！約77百万人増加！



非自動車分担率



80%以上

76.7%
(令和3年度)

79.4%
(令和5年度)

令和5年度に実施した京都市独自調査の結果、過去最高の水準に！

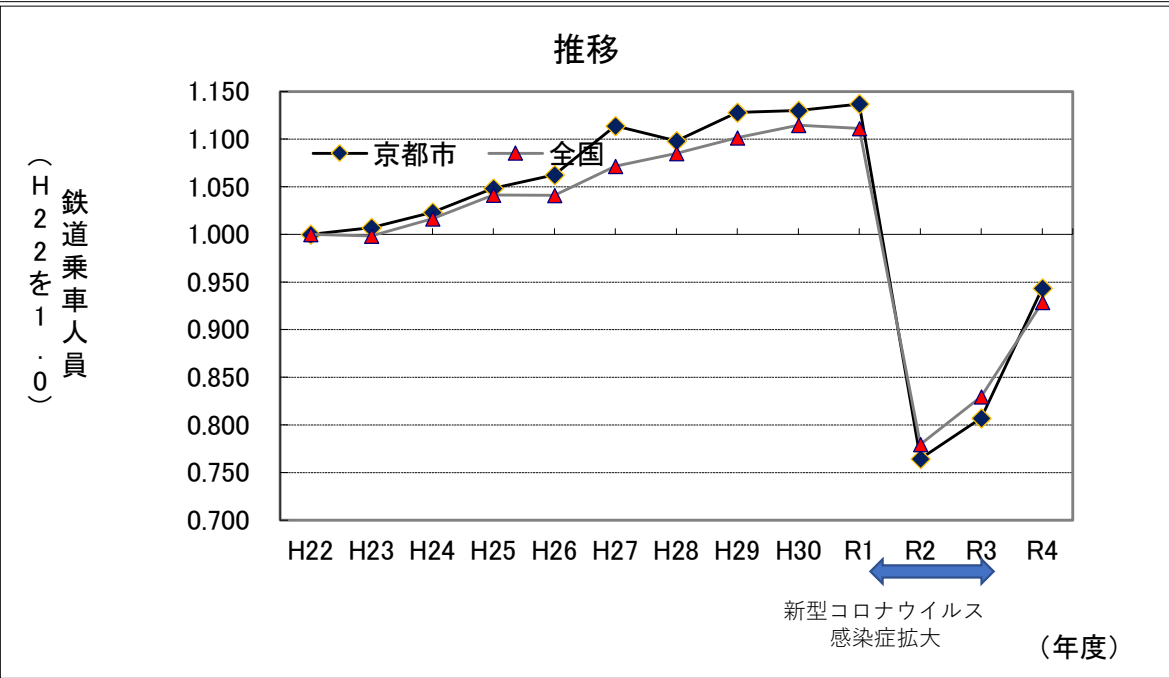
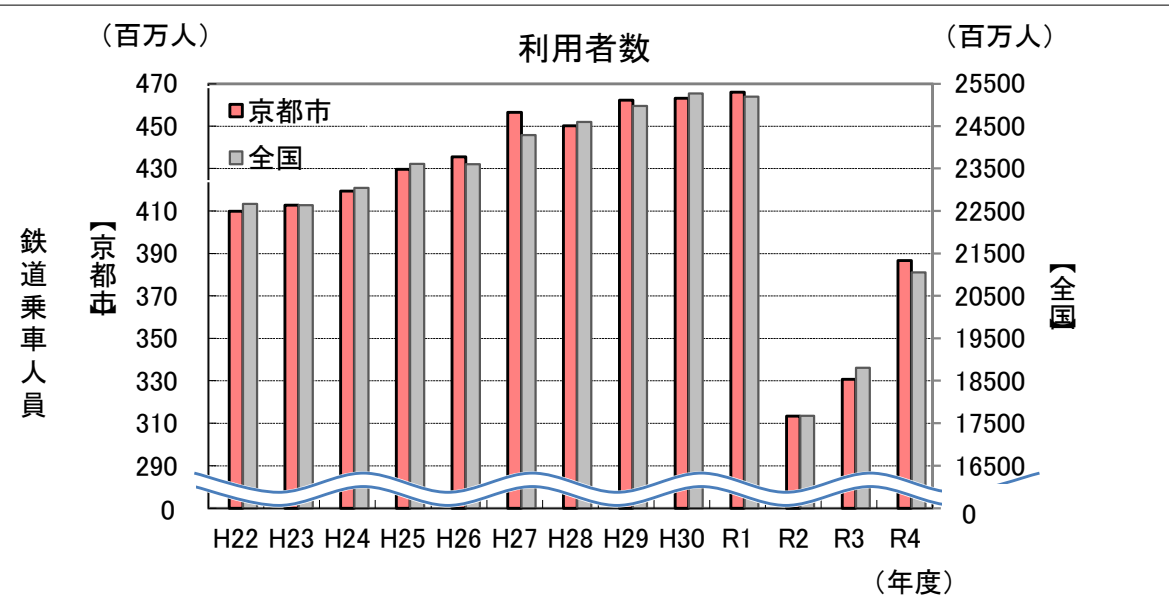


目標値の状況について②

	目標値	計画策定時	最新値
補助対象路線の 公共交通収支状況	向上又は現状維持	61.1% (令和4年度)	59.1% (令和5年度)
補助対象路線の 本市財政負担額	減少又は現状維持	46,798千円 (令和4年度)	49,443千円 (令和5年度)
公共交通サービスへの 満足度	向上	46.3% (令和4年度)	43.2% (令和5年度)
市民の休日の外出率	向上	—	71.0% (令和5年度)

公共交通利用者数 (鉄道)

令和 6 年 3 月 2 6 日開催
「歩くまち・京都」推進会議資料から抜粋



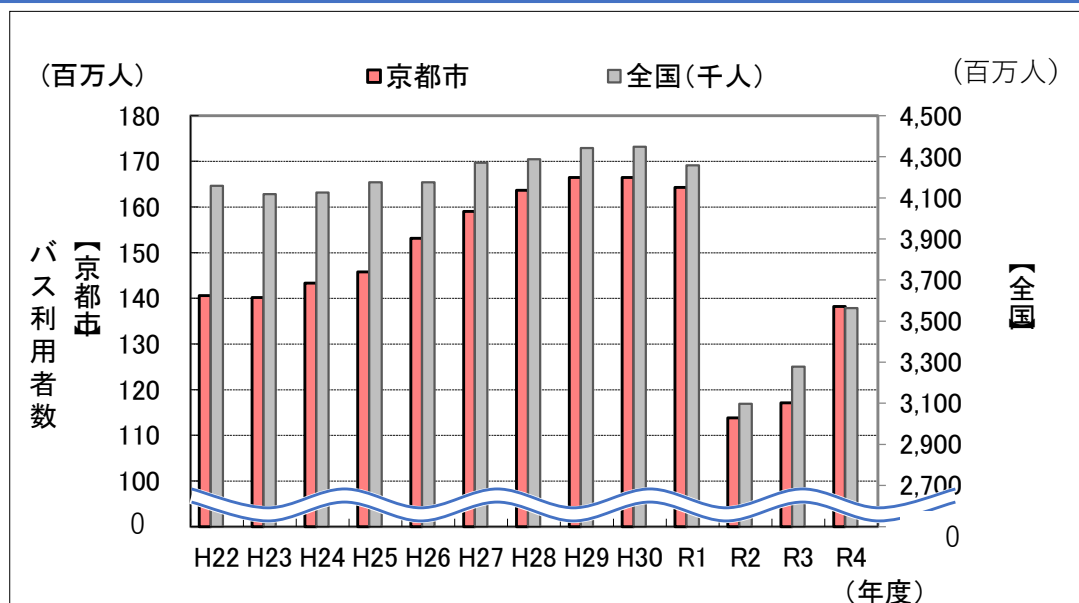
- 鉄道の利用者数は、**経年的に増加傾向**にあった。
- 平成 22 年度と令和元年度とを比較すると、京都市は**約 14%増加**
- 令和 2～3 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少しているが、令和 4 年度にかけ回復傾向にある。

(資料) 京都市調べ
鉄道輸送統計年報

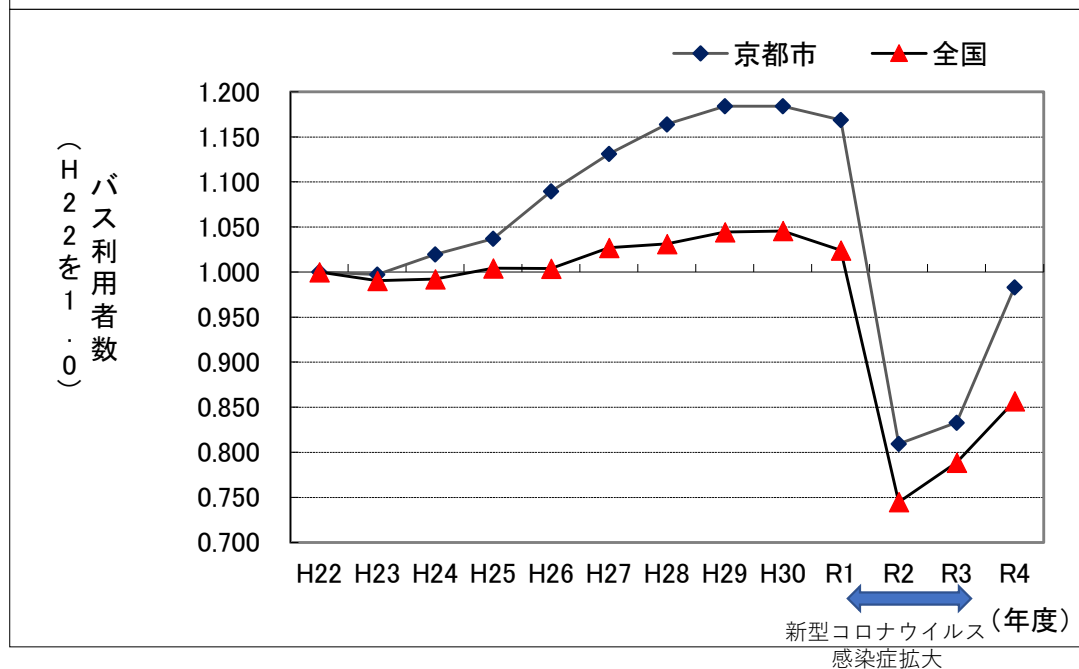
公共交通利用者数（バス）

柱1【方針1】

柱3【方針7】



- バスの利用者数は、**経年的に増加傾向**にある。
- 平成22年度と令和元年度とを比較すると、京都市は**約17%増加**している。
- 令和2～3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少しているが、令和4年度にかけ回復傾向にある。



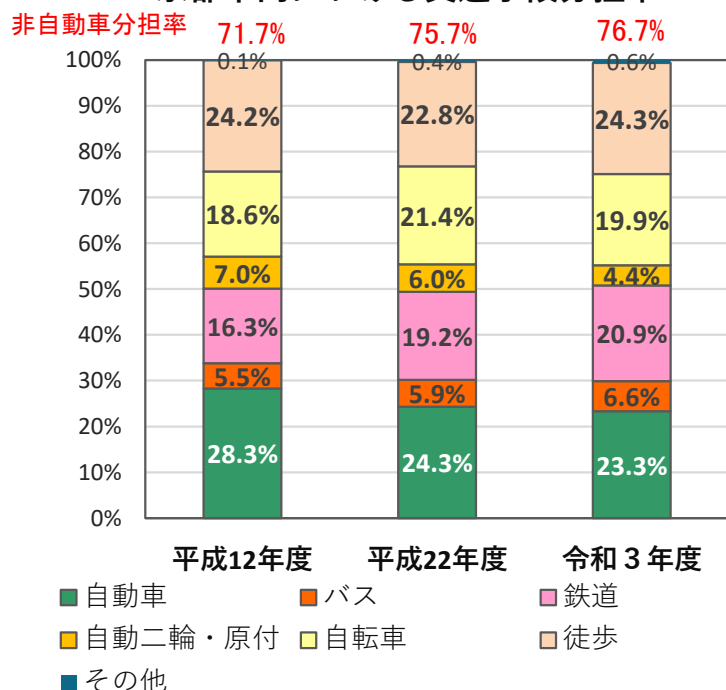
（資料）京都市調べ
国土交通省資料

指標・目標数値（非自動車分担率 85%以上）

・非自動車分担率は、京都市独自調査の結果、令和5年度は79.4%と、過去最高の水準となっている（令和3年度のPT調査では76.7%）。

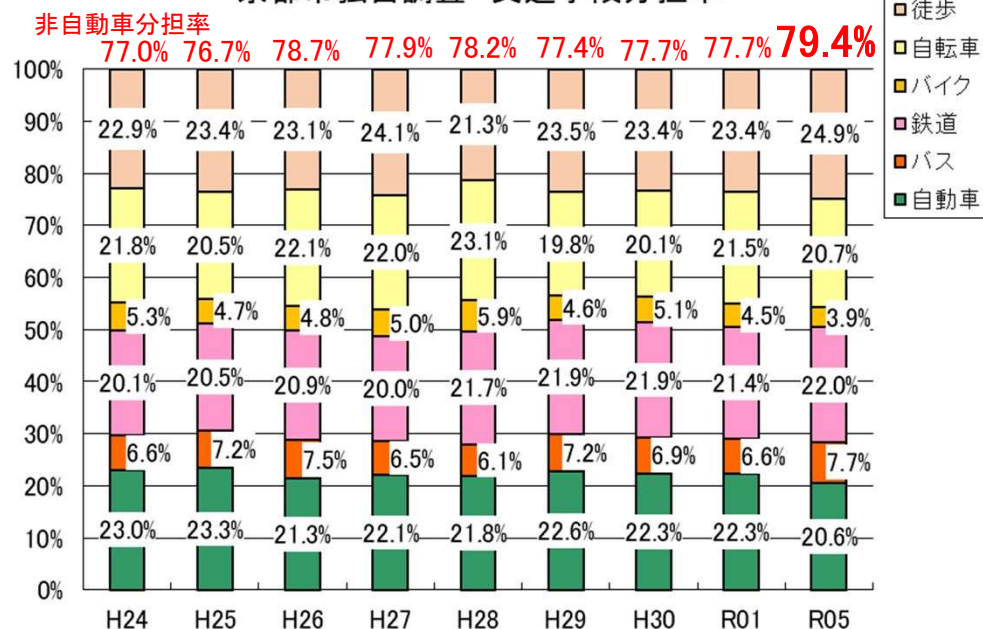
近畿圏パーソントリップ調査

京都市内における交通手段分担率



※ 近畿圏パーソントリップ(PT)調査...
国土交通省及び近畿圏の2府4県4政令市などから構成される「京阪神都市圏交通計画協議会」が10年に1度実施する地域別・交通手段別等の交通実態に係る調査。
インターネット及び郵送による調査（平成12年度までは訪問調査）で、対象自治体に居住している世帯の中から無作為に抽出した世帯の構成員（5歳以上）の全員を対象としている。

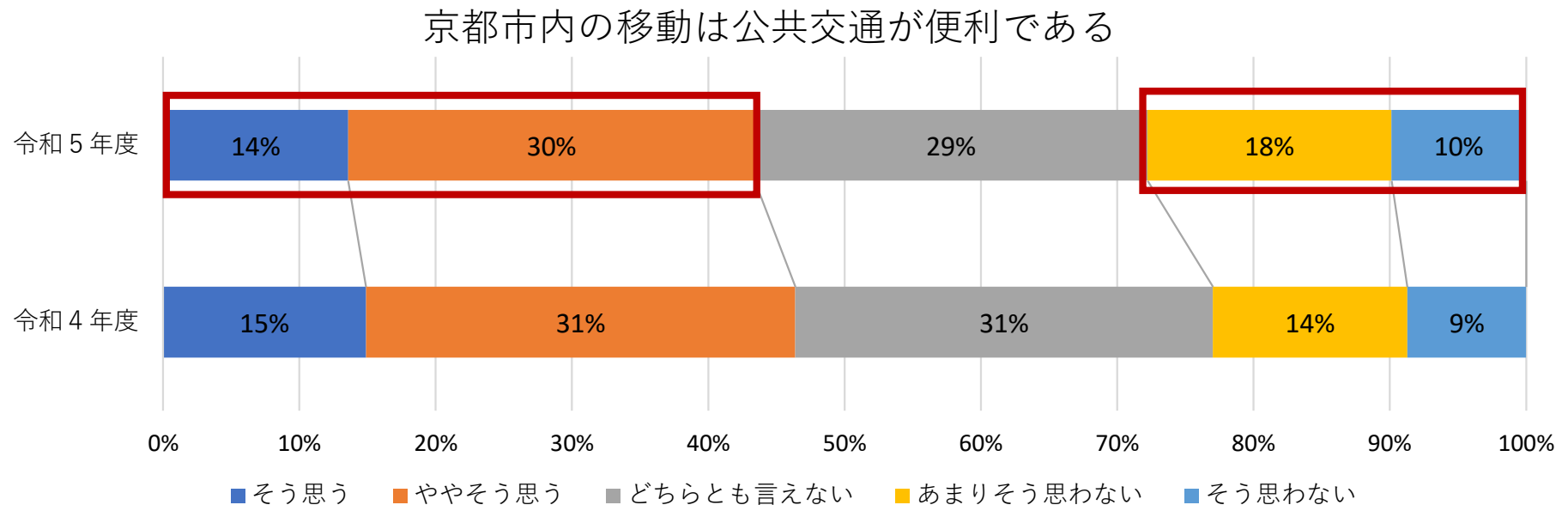
京都市独自調査 交通手段分担率



「歩くまち・京都」の実現に向け、市民、事業者、行政が連携し、来訪者とともに、たゆむことなく取組を推進していくことが重要であり、各主体が「歩くまち・京都」の理念や憲章を共有し、一体となって戦略に掲げる取組を進める。

《方針 1・2 関連》公共交通の利便性

「京都市内の移動は公共交通が便利である」という設問に対し、「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した方が4割超となっている（昨年度からはやや減少）。
一方、「そう思わない」又は「あまりそう思わない」と回答した方は3割弱であった。



（資料）京都市市民生活実感調査

※ 京都市市民生活実感調査…市民の皆様が、日々の暮らしの中で、京都のまちづくりについて「どのような実感をお持ちなのか」について聞く調査

京都市民の休日における外出率

- ・京都市民の休日の外出率は、令和3年度（近畿圏パーソントリップ調査）は53.1%であり、コロナ禍による出控えの影響が大きかったと思われる。
- ・令和5年度（京都市独自調査）の休日の外出率は71.0%であった。

休日の外出率

